

福井県立高志中学校
校長 山内 悟

皆さん、おはようございます。

校歌の歌い出しにあるように、木々の葉や草花の芽が次々と顔を出し、春の香りを届けてくれています。

いきなりですが、質問です。

皆さんは、今日の「小さな目標」（昨日の入学式の式辞で言及）を持って学校に来ましたか？

私は、できるだけ多くの人に「おはよう」と声をかけようと思って学校に来ました。はじめは生徒玄関に向かったのですが、予定を変更して、学校周辺をひと歩きすることにしました。ちょっと肌寒く感じましたが、空を見上げると昨日よりも澄んだ青空が広がっていたり、近隣住民の方が植えられた花壇の花が咲いていたりするのを見て、学期が始まる今日の日をお祝いしてくれているみたいだなと思うと、気持ちも足取りも軽くなりました。

歩いている途中、登校してくる生徒や交通指導に立たれている先生方に「おはようございます」と声をかけました。生徒玄関に立っているよりは声をかけられた人の数は少なくなりましたが、体はぽかぽかと温かく、そして気持ちもなんだかほっこりした感じになりました。

このようにして、私は今日、朝から「いいこと」を1つ見つけることができました。学校の周りを歩いてみようと思わなかったら、こんな気持ちにはならなかったかもしれません。

さて、昨日の入学式で式辞を読み上げましたが、1年生の皆さんはしっかりと私の方を向いて聞いてくれました。とてもうれしかったです。ありがとうございます。

式辞では、校訓の3つの言葉の意味と、学校生活を楽しく過ごすためのアドバイスを述べました。2、3年生に届けたいメッセージも込めました。

特に、校訓については、常に意識してほしいと皆さんに伝えました。1つ1つの活動（授業、給食、家庭学習、部活動、友達とのやり取り、などすべて）において、目標を達成するための強い気持ちをもって（克己）、新しい考え方ややり方を追求し（創造）、人を敬う気持ちや感謝の心、優しさをもって（敬愛）、精一杯取り組んで、少しずつ階段を上っていきましょう。

式辞は、本校のホームページに掲載されています。昨日、あらためて読んでみたという人はいますか？実は、昨日の式辞では述べなかったけれど、ホームページには載っている1文があります。

その1文は、アドバイスの3つ目「目標を持ちましょう」という話の最後にあります。それは、「ちなみに、私の『大きな目標』は、先生方や生徒の皆さんとともに高志中学校を『ワクワクする学校』にすることです。」という文です。

「ワクワクする学校」と言われて、皆さんはどんなイメージを持ちますか？

高志中学校を「ワクワクする学校」にするために、私は、先生方にいくつかのお願いをしました。

現在、各担当の先生たちで具体的なプランを考えてもらっているところです。生徒会やその他の生徒の皆さんとも相談してもらいながら、決まったものから順にお知らせしていくことになると思います。「高志中ワクワクプロジェクト」に、皆さんが主体的に、積極的に取り組んでくれることを期待しています。

今日は年度のはじめということで、皆さんは今、新鮮な気持ちでワクワクしていることと思います。でも、明日から授業が始まり、同じような毎日がしばらく続くと、もしかすると、毎日が単なる「日常の1コマ」となってしまうかもしれません。毎日を新鮮な気持ちで過ごすこと、日常をワクワクしたものにする、というのは意外と難しいものです。

私が目指す「ワクワクする学校」というのは、決して、毎日のように楽しいイベントを行うというものではありません。皆さんには日常の1コマ1コマから、ワクワクする何かを見つけ出してもらいたいと思っています。

昨年11月に講演会を行いました。アラスカで1年の半分以上を過ごし、自然の風景を写真に収める活動をしている松本紀生（まつもとのりお）さんに来ていただきました。松本さんは、「大自然の中で何か月か過ごすけれど、いつも同じ風景を目にするわけではない。毎日、いろいろな場面に出くわす。それに気付くかどうかは、自分次第だ。」と着眼力の大切さについて話してくださいました。

私たちの毎日の生活も、一見同じようだけれど実はそうではありません。同じ人たちと同じようなやり取りをしても、そこには少しずつ変化があります。これまでは気付かなかったことに、ふと気づくことがあります。それまではできなかったことや分からなかったことのヒントが、ある日見つかることがあります。昨日までは思いつかなかったアイデアが、今日ふとわいてくることがあります。

皆さんには、日々の出来事を絶えず新鮮な気持ちで見つめてもらいたいと思います。そして、少しの変化や気付き、ちょっとしたヒントやアイデアにもしっかりと目を向けて、それらを楽しみながら自分のプラスにするにはどうするとよいかという視点をもってください。これからの毎日を「平凡な日常」にしてしまうか、「ワクワクな毎日」にするかは、皆さん次第です。

最後に、連絡を1つ。今年度から、先生方が所属する部署の名称について、「指導部」を「生徒支援部」に、「研究部」を「研究支援部」に変更しました。学校で行われる活動は、学習も探究活動も、学校行事も部活動も、主役は生徒の皆さんです。皆さんの様々なチャレンジを先生方はしっかり支援します、という意味で部署の名前を変えました。

先生方は、各教科の授業を行うだけでなく、皆さんの質問に答えたり相談に乗ったりします。一緒にやってみよう、考えてみように伴走することもあるし、時には、「どうしたいのか」「どうなりたいのか」と問うことやもう少し深く考えてみようと呼ぶことがあるかもしれません。時には、ちょっと高いハードルを越えてみようと呼ぶ励ますこともあると思います。それらはすべて、皆さんがチャレンジすることから何かを得てほしいという期待の表れだと思って、前向きに受け止めてください。

先生方から皆さんに「ワクワクなプラン」が提示されるまでには、まだ少し時間がかかりそうです。それまでの間、皆さん自身が、自分の学校生活をワクワクなものにする見方・考え方をもって、今日からの学校生活を過ごしてください。